

令和6年2月 21 日

関係機関の長 殿
関係各位

山口大学大学院創成科学研究科長
山田 陽一
(公印省略)

地球科学分野 教員の公募について(依頼)

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、このたび山口大学大学院創成科学研究科理学系学域では、下記の要領に従い地球科学分野の教員1名を公募いたします。つきましては、貴機関関係者へご周知いただきますようお願い申し上げます。

敬具

記

1. 公募人員 講師又は助教 1名
2. 所 属 山口大学大学院創成科学研究科 理学系学域 地球科学分野
(理学部 地球圏システム科学科 担当)
山口県山口市吉田 1677-1
3. 専門分野 地球科学(地質学全般。特に、構造地質学・応用地質学・岩石学・鉱物学・地史学)
4. 担当科目 共通教育科目, 学部及び大学院専門科目
5. 任 期 講師は任期なし。助教の場合, 5年(審査により5年の再任1回可)
6. 応募資格 (1) 博士の学位を有するか, 又は着任までに取得見込みの方
(2) 地球科学分野の実験・野外実習・授業に加え, 特別研究(卒業論文)等の指導を担当できる方
(3) 当該分野では, JABEE(日本技術者教育認定機構)認定プログラムに基づき教育を実施しております。当該分野の現スタッフと協調して, このプログラムに沿って高度技術者となりうる人材の育成に積極的に取り組める方
7. 着任時期 令和6年11月1日以降のできるだけ早い時期
8. 待 遇 給与等の雇用条件は, 本学の規程による。
9. 応募締切 令和6年6月28日(金)(必着)
10. 提出書類 (1) 履歴書(氏名・性別・現住所・電話番号・e-mail アドレス・学歴(高校以降)・職歴・受賞歴等を記載したもの)
(2) 研究業績リスト(研究論文, 著書, 総説・解説等に分けて, 査読の有無や印刷中・投稿中のものは, その旨を明記すること)
(3) 上記(2)に記した主要研究論文の別刷(3編以内)
(4) これまでの研究経過と将来の研究計画(A4 版で2枚以内)

- (5) 着任後の教育に対する抱負 (A4 版で1枚)
- (6) 競争的外部資金の獲得状況リスト
- (7) 応募者について照会可能な方2名の氏名と連絡先(所属, 職名, 勤務先住所, 電話/Fax 番号, e-mail アドレスなど)

11. 応募方法 JREC-IN Portal (<https://jrecin.jst.go.jp/>)から Web 応募をお願いします。
上記(1)~(7)を 1 つの pdf ファイルにまとめた上で, 1 つの zip ファイルに圧縮してアップロードしてください。
※ JREC-IN Portal による応募が難しい場合は以下の問合せ先にご相談下さい。

12. 問合せ先 〒753-8512 山口県山口市吉田 1677-1
山口大学大学院創成科学研究科 理学系学域
地球科学分野長 大和田 正明
Tel: 083-933-5751, e-mail: owada@yamaguchi-u.ac.jp

13. その他

- ・書類審査を経て若干名の方に対して, 令和6年7月中旬頃~8月上旬頃に対面あるいはオンラインで面接(模擬授業を含む)を行います。その際の旅費等の費用は自己負担になります。
- ・応募書類に含まれる個人情報には本選考以外の目的には使用しません。
- ・山口大学では、男女共同参画を推進しており、「男女雇用機会均等法」第8条の規定により、研究者の女性割合を積極的に改善するための措置として、女性を積極的に採用します。
- ・山口大学では、子育てや介護等によるライフイベントと仕事の両立支援を積極的に行っており、吉田キャンパス内での長期休暇中の学童保育の実施や、病児保育を利用した際の助成制度、研究補助員制度、メンター制度、研究活動復帰支援制度、介護支援制度などを整備しております。
- ・日本語又は英語で教育・研究・運営業務が滞りなくおこなえる方(日本語を母国語としていない方の場合、日本語検定3級程度以上の日本語能力を有することが望ましい)。

山口大学はワークライフバランスを支援しています！

山口大学では、大学の構成員（学生・教員・職員）のダイバーシティ（多様性）を積極的に高め、同時に各自の個性と能力が最大限に発揮できるような労働環境の整備に取り組んでいます。そのために、ダイバーシティ推進室ではジェンダーバランスの促進をはじめ、ワークライフバランスのための様々な取組を進めています。詳しくはホームページでも紹介しておりますので、ご覧ください。

<https://ds0n.cc.yamaguchi-u.ac.jp/~diversity/>

研究についての支援

研究補助員 制度

ライフイベントを抱える本学の研究者を対象に、学部生や大学院生を研究補助員として配置することが可能です。

研究活動 復帰支援制度

ライフイベントによる休業等から復帰後1年以内の本学の研究者を対象に、研究活動にかかる経費の一部を助成します。

女性研究者 メンター制度

学内において、主に新任の女性教員等を対象に、教育・研究上や大学生活上のさまざまな疑問や悩みを相談できる教員（メンター）とのマッチングを行います。

留学生 サポーター 制度

語学力で研究活動のサポートを目的として、英語・中国語・韓国語を母国語とする留学生を紹介し、母国語を用いた研究活動の補助業務のためにサポーターとして配置することができます。

子育てや介護についての支援

学童保育 ヤマミイ学級

小学校の夏・冬・春休みの間、教職員・学生のお子様を預かる学内学童保育「ヤマミイ学級」を運営しています。教員や学生による大学ならではの多彩なプログラムも提供しています。

たんぽぽ保育園 (小串キャンパス)

医学部や附属病院の職員を対象として、安心して働けるよう学内保育園を整備しています。

基本保育90名
病後児保育3名

企業主導型 保育所

地域の企業主導型保育施設（6施設）と利用契約を締結し、保育サービスを利用することができます。

病児保育施設等 利用助成制度

教職員（共済または社会保険加入者かつ配偶者がいる場合には配偶者が就業中の方）のお子様が病児保育施設を利用した場合に、利用料の一部を助成します。事前登録制です。

学内託児 スペース貸出

教職員がお子様の保育のために利用できる託児スペースを学内で貸出しています。保育者は利用者が自費で用意します。保育者については、ダイバーシティ推進室が紹介することもできます。

介護支援

法人契約を締結している支援団体の提供することができます。

【相談】
介護に関するあらゆる相談についてメール・電話・面談にてお受けします。

【代行業務】
離れて暮らす御両親のお世話を専門職が代行し、支援します。

カウンセリング 相談制度

本学の教職員等を対象に、臨床心理士の専任カウンセラー2名体制により、家庭生活を含むあらゆるご相談やリフレッシュに対応します。



検索